

愛知淑徳大学研究データ管理・公開ポリシー

2025 年 2 月 27 日

愛知淑徳大学（以下「本学」という。）は、「違いを共に生きる」という大学理念のもと、多様性と共生の未来を創ることを目指して、研究・教育活動を行う。実社会で直面する複雑な問題を解決するための実践的な研究を重視し、知識と技術を駆使して社会貢献を追求する。同時に、哲学や文化、倫理といった人間の根本的な価値に基づく研究を通して、深い洞察と知恵をもって社会に貢献する。

こうした研究活動を実現すべく、よりよい研究活動の場を提供し、環境を整え、得られた研究データを適切に管理し、研究データの公開により利活用を促進し、研究データの価値を高め守ることを目的として本ポリシーを以下のとおり定める。

なお、本ポリシーは、本学における研究データの管理、公開及び利活用に関する方針を示すものであり、法令、契約、本学が定める規程等の実施に制約を与えるものではない。

（研究データ）

1. 本ポリシーが対象とする「研究データ」とは、本学における研究活動の過程で研究者によって収集又は生成された情報を指し、デジタルか否かを問わない。

（研究データの管理）

2. 研究者は、研究データを適切に管理・公開・利活用する権利と責務を有する。その際、法令、本学規則、倫理的要件、それらに準ずる規則などを遵守すること。また、他の者の権利及び法的利益を害さないこと。

（研究データの公開）

3. 研究者は、研究分野の特質を踏まえ、その法的及び倫理的要件に従って、可能な限り研究データを公開し、その利活用を促進する。

（大学の役割）

4. 本学は、研究データの管理及び公開を支援する環境の整備を推進する。

（その他）

5. 本ポリシーは、法令、社会や学術環境の変化に応じて、適宜見直しを行うものとする。